

新型コロナウイルス感染症対策に関する指導案事例集

新型コロナウイルス感染症の予防

～子どもたちが正しく理解し、実践できることを目指して～

令和3年6月
広島市教育委員会

【本市における新型コロナウイルス感染症に関する教育】

自己免疫の向上、感染に対する抵抗力（防衛体力）の向上

感染症に関する保健教育

体育科、保健体育科における指導
【主として感染症が扱われる単元】

小学校 体育科 保健領域	中学校 保健体育科 (保健分野)	高等学校 保健体育科 「科目保健」
〈第3学年〉 健康な生活	〈第3学年〉 健康な生活と 疾病の予防	〈入学年次〉 現代社会と健康
〈第6学年〉 病気の予防	(オ) 感染症の予防	(イ) 健康の 保持増進と疾 病の予防

教科等横断

(幼) 領域「健康」、(小・中・高) 特別活動に
おける指導【学級活動・ホームルーム活動】

- (幼) 心身の健康に関する領域「健康」
- (小) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (中) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (高) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

感染症に関する人権教育

コロナ感染症に関わる いじめや風評被害を防ぐための指導

新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、改めて児童生徒等が感染症に対する知識・理解を深め、新型コロナウイルス感染症の予防を図るために、発達段階を踏まえた指導の充実がより一層求められています。

このことを受け、広島市教育委員会では、「自己免疫力の向上、感染に対する抵抗力（防衛体力）の向上」を目指し、「感染症に関する教育」の充実を図るための指導案事例集を作成しました。

指導案の作成にあたっては、令和2年4月文部科学省作成の「新型コロナウイルス感染症の予防～子供たちが正しく理解し、実践できることを目指して～」を参考とし、新型コロナウイルス感染症の感染の仕方の理解と、その理解に基づく行動に関わることや、新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見等について考えることができるものとししました。

幼稚園では健康領域、小・中・高等学校及び中等教育学校では特別活動において、発達段階を踏まえた指導を工夫されますようお願いいたします。また、小・中・高等学校及び中等教育学校においては、体育科・保健体育科との教科等横断的な学習の充実を図りながら、より実践的な学びとなるよう期待しています。

最後に、本事例集の作成にあたり、御多用中にもかかわらず協力していただいた多くの関係者の皆様方に対し、心から感謝の意を表します。

令和3年6月

広島市教育委員会
指導第一課
指導第二課
特別支援教育課
健康教育課
教育センター

新型コロナウイルス感染症対策に関わる学習

	感染症に関する教育		
	体育科及び保健体育科	【幼】領域「健康」 【小・中・高】特別活動 (学級活動、ホームルーム活動)	感染症に関する 人権教育
幼児	<p style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染症対策</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">正しい知識</p> <p>新型コロナウイルスの大きさや形、感染経路、症状、飛沫感染の距離など</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">実践力</p> <p>正しい手の洗い方、正しいマスクの着用の仕方 3密の回避 など</p> </div> </div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>新型コロナウイルス感染症に関わるいじめや風評被害を防ぐための指導</p> </div>
小1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">全 て の 学 年 で 繰 り 返 し 指 導</div>	自分の生活を見直し、実践する【実践力】 (例:手洗い)	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">全 て の 学 年 で 繰 り 返 し 指 導</div>
小2			
小3	【健康な生活】 運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活と体の清潔	自分の生活を見直し、実践する【実践力】 (自分だけでなく、周りの人のことも考え、行動する) (例:マスク着用)	
小4	【体の発育・発達】 体をよりよく発育・発達させるための生活		
小5	【心の発達及び不安や悩みへの対処】 不安や悩みへの対処	自分の生活を見直し、実践する【実践力】 (自分だけでなく、周りの人のことも考え、行動する) (例:生活全般)	
小6	【病気の予防】 病気の起こり方 病原体が体に入るのを防ぐこと 生活習慣病		
中・高	【健康な生活と疾病の予防】 適切な運動、食事、休養 感染症の予防 【現代社会と健康】 健康の保持増進と疾病の予防	自分の生活を見直し、実践する【実践力】 (自分だけでなく、社会全体のことを考え、行動する)(例:生活全般)	

目 次

1	小学校低学年向け学習指導案	
(1)	指導案	1～4
(2)	資料	5～16
2	小学校中学年向け学習指導案	
(1)	指導案	17～20
(2)	資料	21～27
3	小学校高学年向け学習指導案	
(1)	指導案	28～31
(2)	資料	32～37
4	中・高等学校及び中等教育学校向け学習指導案	
(1)	指導案	38～45
(2)	資料	46～50
5	参考資料	
(1)	新型コロナウイルス感染症の予防 ～子供たちが正しく理解し、実践できることを目指して～	51～59
(2)	いじめや風評被害を防ぐための指導 補助資料	60～61

小学校低学年向け学習指導案（特別活動）（例）

新型コロナウイルス感染症の予防

～子どもたちが正しく理解し、実践できることを目指して～

1 内容のまとめり及び指導事項

学級活動 小学校

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 学級活動(2)で育成を目指す資質・能力（例）

- (1) 自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定することができるようにする。
- (3) 自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい生活を送ろうとする態度を養う。

3 第1学年及び第2学年の評価規準（例）

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい生活を送ろうとしている。

4 題材名 新型コロナウイルス感染症の予防 「正しい手の洗い方」

5 題材設定の理由

新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、発達段階に応じた指導の充実を図る必要が生じている。

低学年では、児童自らが健康課題に気付いたり、その課題を解決しようとしたりすることは難しい。日常の健康や安全に関する問題を教師が投げかけ、課題の解決に向けて話し合うことで児童が自主的に健康及び安全の保持増進の取組を実践できるようにすることが大切である。

手洗いは、手の汚れをとるだけでなく、感染症の予防にもつながる大切な生活習慣である。しかし、目に見えないウイルスのために、手洗いをする意識は低い。

そこで、感染症対策のための効果的な手洗いを正しく理解することで、自己の課題を知り、自分に合ったよりよい解決方法を実践していくことが大切であると考え、この題材の設定をした。

6 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
手洗いに関するアンケートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いの仕方（いつ手洗いをしているか、どのように洗っているか）について調査し、表やグラフにまとめる。 	◎ 手洗いに関する自己の生活を進んで振り返ろうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉

7 展開例

(1) 本時のねらい

感染症予防のための効果的な手洗いの方法を知り、自分の課題に合わせて正しい手洗いを意思決定し、実践できるようにする。

(2) 展開

時間	主な学習内容・学習活動	指導上の留意点（◇） 目指す児童の姿（◆）
導入 つかむ	1 事前アンケートの結果を見て気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 外から帰ったら手を洗うけれど、時々忘れることがある。 給食前には手を洗うけれど、学校にきたときに洗わないときがある。 15秒以上かけて洗っていない。 2 新型コロナウイルスについて知る。 <ol style="list-style-type: none"> 目に見えないウイルスが原因であること 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染すること ウイルスが手に付着した状態で口や鼻を触ると粘膜から感染すること 3 手洗いとウイルスの関係を知る。 <ul style="list-style-type: none"> 正しい手洗いをしないと、こんなにたくさんのウイルスが付いたままなのか。 	◇ 事前にアンケート（資料1）をとり、手洗いに関する児童の実態を把握しておく。 ◇ 課題解決の必要感を高めるために、アンケートの結果を提示し、手洗いに関する学級の課題を確認する。 ◇ 新型コロナウイルスの原因と感染の仕方について理解できるようにするため、資料2を使ったり、動作化したりして、視覚的に捉えやすくする。 ◇ 学級の実態に応じて、「ウイルス」や「飛沫」、「感染」などの言葉は分かりやすい言葉に置き換えて説明する。 ◇ 課題意識をもたせるために、手洗いの方法と残存ウイルス数の関係（資料3）を提示し、手洗いの必要性を感じるようにする。

	<p>4 課題を確認する。</p>	
<p>さぐる</p>	<p>5 課題の解決方法について話し合う。</p> <p>「いつ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校に来たとき ・ 大休憩の後 ・ トイレに行った後 ・ 給食を食べる前 ・ 遊んだ後 <p>「どのように」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石鹸を使う ・ すみずみまで ・ しっかり時間をかける 	<p>◇ 「いつ」「どのように」という視点を与え、具体的な場面を想起しやすくさせる。</p> <p>◇ 「いつ」の視点については、どんなときに手が汚れているか(もしくは手が汚れていそうか)具体的に想起させ、手を洗うタイミングを考えさせる。</p>
<p>展開</p>	<p>6 正しい手洗いの方法について知る。</p> <p>「いつ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外から教室に入るとき ・ 掃除の後 <p>「どのように」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石鹸を使って、しっかりとこすって洗う。 ・ 指の間や爪の中もよく洗う。 ・ 水できちんと洗い流す。 ・ きれいなハンカチやタオルでふく。(資料4を参考に) 	<p>◇ どのような手洗いが良いか考えを持ちにくい場合は、具体的に手を洗う動作を見せ、「この方法でよいか」問いかける。</p> <p>(例) ・ 手の平のみをこすりあわせる</p> <p>◇ 必要に応じて、厚生労働省の正しい手洗いの動画等を活用したり、手洗いのタイミング、正しい手の洗い方の資料(資料4)を用いたりして、具体的なイメージをもつことができるようにする。</p>
<p>みつける</p>		<p>◇ どのようない場合は、具体的に手を洗う動作を見せ、「この方法でよいか」問いかける。</p> <p>(例) ・ 手の平のみをこすりあわせる</p> <p>◇ 必要に応じて、厚生労働省の正しい手洗いの動画等を活用したり、手洗いのタイミング、正しい手の洗い方の資料(資料4)を用いたりして、具体的なイメージをもつことができるようにする。</p>
<p>終末</p>	<p>7 これまでの自分の手洗いを見直し、個人のめあてを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまではそんなに時間をかけて洗っていなかったので、しっかりすみずみまで洗う。 ・ 外から帰ったときや給食を食べる前は、石鹸と流水でしっかり洗う。 	<p>◇ 自分がこれから取り組んでいくことを学習カード(資料5)に書いたり、発表したりして、表現させる。</p> <p>◆ 自分の課題に合った具体的な目標を意思決定している。【思考・判断・表現】(行動観察、学習カード)</p>
<p>きめる</p>		

8. 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
自分の立てた目標や取組について振り返る。	・ 事後に振り返る機会を設定し、継続して実践できるようにする。	◎ 自ら進んで感染予防に効果的な手洗いをしようとする。 【主体的態度】〈学習カード〉

() ねん () くみ なまえ ()

(1) あなたは いつ てを あらっていますか。あてはまるもの すべてに
○をしましょう。

- ・ がっこうにきたとき ()
- ・ だいきゅうけいのあと ()
- ・ きゅうしょくのまえ ()
- ・ といれのあと ()

(2) なんびょうかけて、てあらいを していますか。

- ・ 5びょう ()
- ・ 10びょう ()
- ・ 15びょうよりながく()

(3) せっけんを つかいますか いつも つかう ()
ときどき ()
つかわない ()

(4) ほかに きをつけていることがあれば かきましょう。

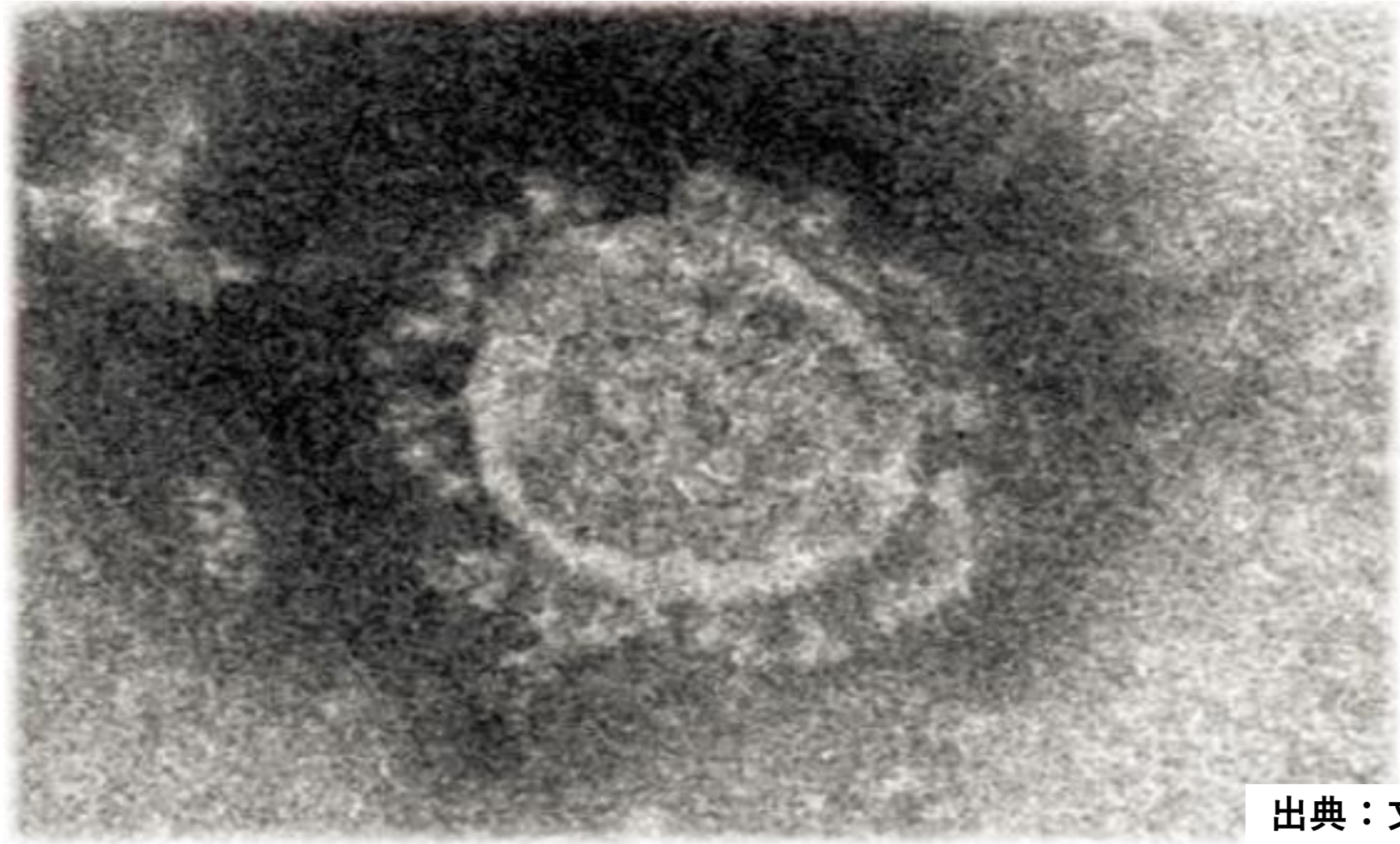
() ねん () くみ なまえ ()

もくひょう

--

ひにち	できたら○
がつ にち (げつ)	
がつ にち (か)	
がつ にち (すい)	
がつ にち (もく)	
がつ にち (きん)	

新型コロナウイルス

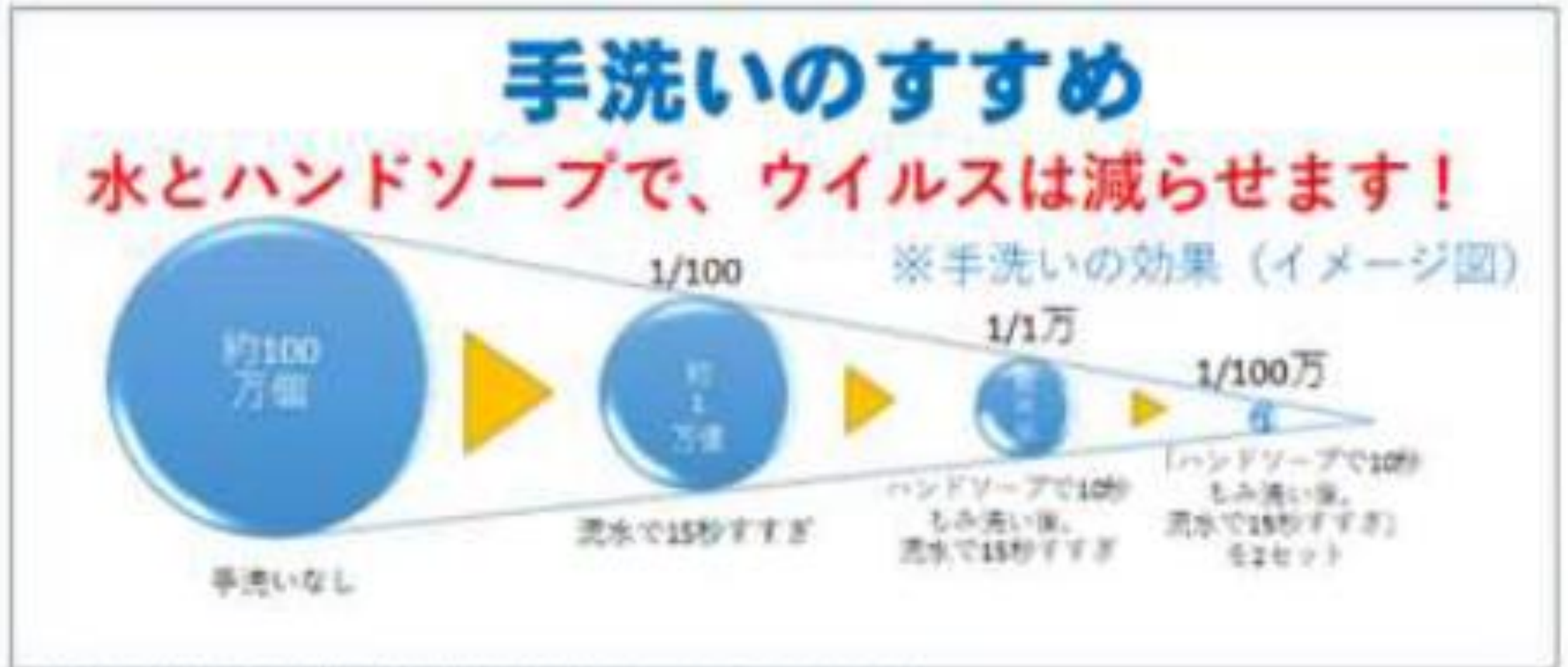


資料 2 感染の仕方 補助資料



出典：文部科学省HP

資料3 手洗いと残存ウイルス数の関係



(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌.80:496-500(2006)

資料3 手洗いと残存ウイルス数の関係



手洗いの時間・回数による効果

手洗いの方法	残存ウイルス数 (残存率)*
手洗いなし	約1,000,000個
流水で15秒手洗い	約10,000個 (約1%)
ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数百個 (約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数十個 (約0.001%)
ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個 (約0.0001%)

*:手洗いなしと比較した場合

出典

森功次他:感染症学雑誌、80:496-500,2006

<http://journal.kansensho.or.jp/Disp?pdf=0800050496.pdf>

てあらいのじかんとかいすう

① てあらいなし

ウイルス やく 10,000,000こ

てあらいのじかんとかいすう

② みずでながして 15びょう

ウイルス やく10,000こ

てあらいのじかんとかいすう

- ③ ハンドソープで 10びょう
みずでながして 15びょう

ウイルス やく 100こ

てあらいのじかんとかいすう

- ④ ハンドソープで 10びょう
みずでながして 15びょう
を2かい くりかえす

ウイルス ほとんど0こ

手洗いの6つのタイミング

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻をかんだとき



給食（昼食）の前後



掃除の後



トイレの後



共有のものを触ったとき



資料4 正しい手の洗い方

正しい手の洗い方

正しい爪
-爪は短く切っておきましょう
-時計や留輪は外しておきましょう

1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2 手の甲をのぼすようにこすります。

3 指先・爪の間を念入りにこすります。

4 指の間を洗います。

5 親指と手のひらをねじり洗いします。

6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

首相官邸
厚生労働省
厚労省



出典：厚生労働省HP

小学校中学年向け学習指導案（特別活動）（例）

新型コロナウイルス感染症の予防 ～子どもたちが正しく理解し、実践できることを目指して～

1 内容のまとめり及び指導事項

学級活動 小学校

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 学級活動(2)で育成を目指す資質・能力(例)

- (1) 日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定できるようにする。
- (3) 自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい生活を送ろうとする態度を養う。

3 評価の規準(例)

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への事故の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい生活を送ろうとしている。

4 題材名 新型コロナウイルス感染症の予防 「マスクの正しい使い方」

5 題材設定の理由

新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、発達段階に応じた指導の充実を図る必要が生じている。

中学年では、生活行動の拡大により低学年で身に付いた生活習慣が崩れたり、自らの問題点を発見しようとする姿勢や望ましい解決方法についてもあいまいであったりして、頭でわかっているにもかかわらず実践行動に結び付かない場合も多い。

マスクの着用には、「くしゃみや咳をすることによる飛沫感染を防ぐ」という周りの人への配慮がある。しかし、「自分の体内へのウイルスの侵入を防いでいる」という自分の健康を守るという認識のみ

でマスクを着用している場合が多い。

そこで、マスクを着用する意味を考える学習を通して、健康及び安全の保持増進に対する知識・理解を深めるとともに、感染症予防対策を実践していくことをねらって、この題材を設定した。

6 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
アンケートに記入する。	・ 感染予防のためのマスクの着用に関するアンケート（資料1）を行い、表やグラフにまとめる。	◎ 感染予防のためのマスク着用に関する自己の生活を進んで振り返ろうとしている。【主体的態度】〈アンケート〉

7 展開例

(1) 本時のねらい

マスク着用の意味を考え、自分の課題に合った具体的な行動を意思決定し、実践できるようにする。

(2) 展開

時間	主な学習内容・学習活動	指導上の留意点（◇）・ 目指す児童の姿（◆）
導入	1 事前のアンケートの結果を見て気付いたことを話し合う。 ・ マスクは鼻まで覆うように気を付けている。 ・ 普段しているから、特別に意識はしていない人も多い。 ・ マスクを着用する意味は人によって違う。	◇ アンケート（資料1）の結果を提示し、マスクの使い方に関する学級の課題を確認する。 ◇ マスクを着用する意味については、様々な考えがあることを確認する。
つかむ	2 新型コロナウイルスについて知る。 ① 目に見えないウイルスが原因であること ② 感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染すること ③ ウイルスが手に付着した状態で口や鼻を触ると粘膜から感染すること ④ 無症状の人も感染を広げるリスクがあること	◇ 資料2を使ったり、動作化したりして、視覚的に捉えやすくし、新型コロナウイルスの感染の仕方について理解できるようにする。 ◇ 学級の実態に応じて、「ウイルス」や「飛沫」、「感染」などの言葉は分かりやすい言葉に置き換えて説明する。 ◇ 資料3などを用いて新型コロナウイルスにり患しても、症状が出ていないことがあることを捉え、知らないうちに感染を広げてしまう可能性があることを理解させ、マスクを着用する必要性を感じるようにする。

	<p>3 課題を確認する。</p>	
<p>さぐる</p>	<p>4 課題の解決方法について話し合う。</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">マスクの正しい使い方を考えよう</p>
<p>展開</p>	<p>【発問例①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスクをするのは自分のため？他の人のため？ ・ 自分のため。もし、手に付着したウイルスがあっても、マスクをしていれば、口や鼻からウイルスが入ることがない。 ・ 他の人のため。もし、無症状の場合であっても、マスクをしていれば、他の人に感染を広げる可能性がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 新型コロナウイルスの感染の仕方を踏まえて、改めてマスク着用の意味について考えさせる。 ◇ 実態に応じて、「感染対策普及リーフレット」(厚生労働省)を活用し、正しいマスクの使い方を確認する。
<p>みつける</p>	<p>【発問例②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 状況によっては(運動をしている時や、熱中症の予防のためには)マスクを外す必要があります。マスクを外すときはどのようなことに気を付けたらよいでしょうか。 ・ 自分や周りの人を守るため、できるだけ他の人との距離をとる。 ・ 大きな声で話したり、他の人との会話は控えたりする。 ・ できるだけ、換気の良いところでマスクを外す。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 状況によっては、マスクを外す必要があることを確認し、マスクを外すときにはどのような行動をとればよいか考えさせる。 ◇ どの行動も「自分の健康を守る」だけでなく、「周りの人の健康を守る」ためにも必要であることを確認する。
<p>終末</p> <p>きめる</p>	<p>5 これからの生活における感染予防について、個人の目標を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスクは他の人のためにも正しく着用しようと思う。 ・ マスクを外すときは、大きな声で話すことを控えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 自分がこれから取り組んでいくことを学習カード(資料4)に書いたり、発表したりして、表現させる。 ◆ 学習したことをもとに、自分の課題に合った具体的な行動を意思決定している。【思考・判断・表現】(学習カード)

8. 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
自分の立てた目標や取組について振り返る。	・ 事後に振り返る機会を設定し、継続して実践できるようにする。	◎ 感染予防に留意し、マスクを扱っている。【主体的態度】〈学習カード〉

資料1 アンケート (例)

マスクの使い方 アンケート (例)

() 年 () 組 名前 ()

(1) あなたはふだん、マスクを使うときに気を付けていることがありますか

ある() ない()

あるに○をした人のみ答えましょう。

どんなことに気を付けていますか。

(2) なぜ、マスクをつけるのでしょうか。知っていることや考えたことを書

きましょう。

マスクの正しい使い方

() 年 () 組 名前 ()

1 正しいマスクの使い方について分かったことや考えたことをまとめましょう。

--

2 これからの自分の取組について書きましょう。

自分が決めた目標

--

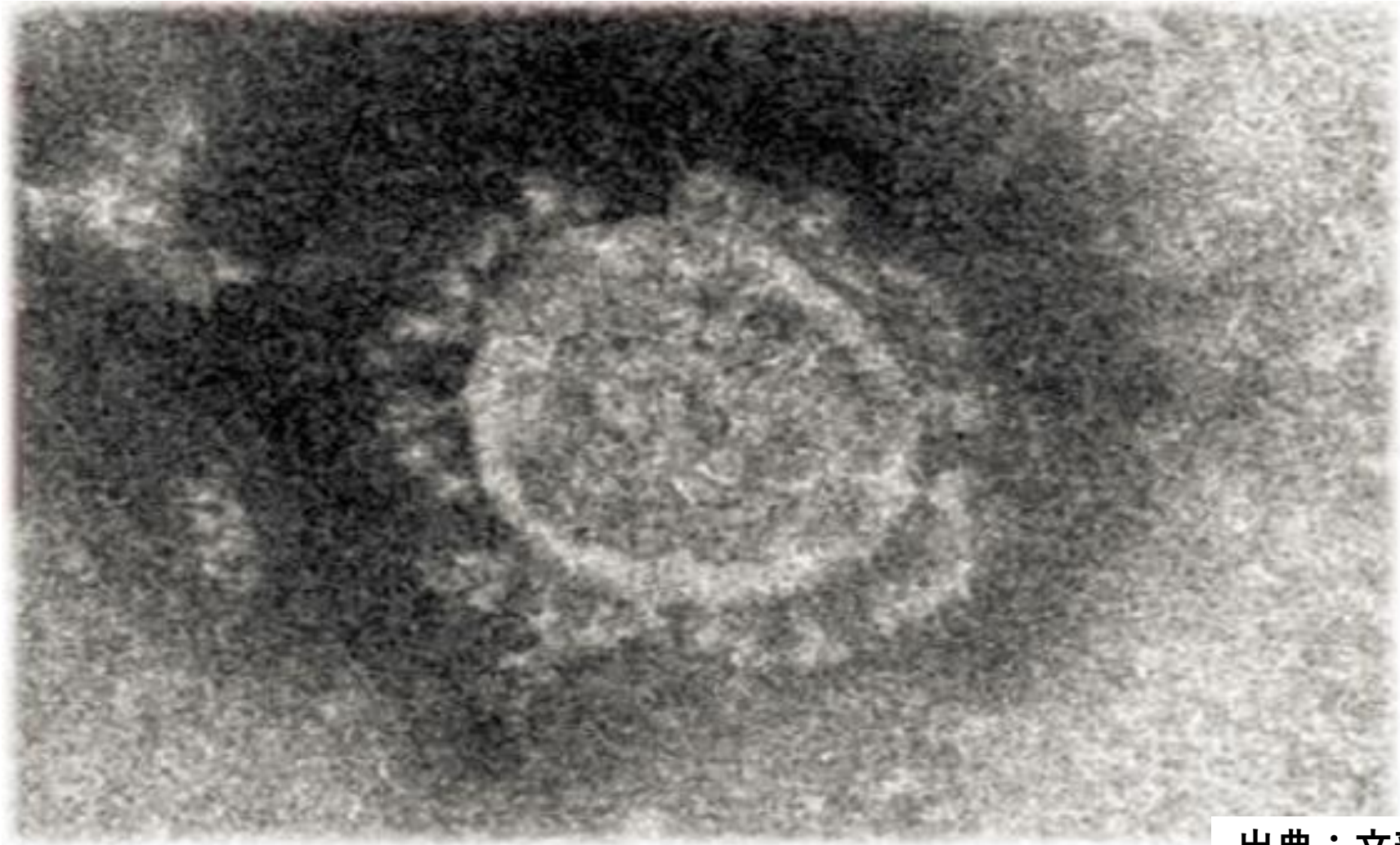
3 7日間チャレンジ (よくできた◎・できた○・できなかった△を記入しましょう)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日

4 ふりかえり

- ・ 活動をして思ったこと、感じたことを書きましょう。

新型コロナウイルス



資料 2 感染の仕方 補助資料



出典：文部科学省HP

資料2 感染の仕方 補助資料

接触感染に注意！

新型コロナウイルスの感染経路として
飛沫感染のほか、**接触感染**に注意が必要です。

人は、“無意識に”顔を触っています！



そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、
約44パーセントを占めています！

(参考文献)

Yen Lee Angela Kwok, Jan Grallton, Mary-Louise McLaws. Face touching: A frequent habit that has implications for hand hygiene. Am J Infect Control. 2015 Feb 1; 43(2):112-114

(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7115329/>)

出典：文部科学省HP

しょうじょうがない人

Q 新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させてしまう可能性がある期間はいつまでですか。

A 新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、**発症の2日前から発症後7～10日間程度**とされています。※

また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。

このため、新型コロナウイルス感染症と診断された人は、**症状がなくとも、不要・不急の外出を控えるなど感染防止に努める必要**があります。

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第4.2版より

感染期間

発症する2～3日前から発症後7～10日程度に
他の人への感染の可能性がある

症状はないが、
他の人を感染させる可能性がある

初発症状

2～3日前

発症から8日くらい経過すると
感染力が大幅に低下する

7～10日間

小学校高学年向け学習指導案（特別活動）（例）

新型コロナウイルス感染症の予防 ～子どもたちが正しく理解し、実践できることを目指して～

1 内容のまとめり及び指導事項

学級活動 小学校

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 学級活動(2)で育成を目指す資質・能力(例)

- (1) 日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定できるようにする。
- (3) 自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい生活を送ろうとする態度を養う。

3 評価の規準(例)

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい生活を送ろうとしている。

4 題材名 新型コロナウイルス感染症の予防 「新型コロナウイルス感染症の予防」

5 題材設定の理由

新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、発達段階に応じた指導の充実を図る必要が生じている。

高学年では、幼児期からの自己中心型から離脱し、判断力も高まり、主体的な生活が可能になってくる。この時期は基本的な生活習慣をさらに意識化し、確立させる段階と言える。感染症対策をしていくことが自分だけでなく、家族や周りの人、ひいては自分を含めた社会全体を守ることにつながることを認識させ、自主的に対策に取り組む態度を養いたい。

現在、小学校児童においても新型コロナウイルス感染症のり患者が増加している。そのほとんどが

家庭内感染であるが、学校内感染も増えている。

そこで、なぜ家庭内や学校内で感染が広がるか原因を考え、自分の生活を見直すという学習を通して、健康及び安全の保持増進に対する知識・理解を深めるとともに、感染症予防対策を実践していくことをねらって、この題材を設定した。

6 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
アンケート(資料1)に記入する。	・ 感染症の対策に関する経験などを調査し、表やグラフにまとめる。	感染症の対策に関する自己の生活を進んで振り返ろうとしている。 【主体的態度】(アンケート)

7 展開例

(1) 本時のねらい

新型コロナウイルス感染症に感染する原因を考え、自分の課題に合ったよりよい予防方法を意思決定し、実践できるようにする。

(2) 展開

時間	主な学習内容・学習活動	指導上の留意点(◇)・評価(◆)
導入	<p>1 事前のアンケートの結果を見て、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手を洗ったり、うがいをしたりすることが大切だ。 ・ マスクを付けることも大切だ。 ・ 好き嫌いせずに栄養バランスを考えて食べることも大切だと聞いた。 ・ 人によって、意識していることが違う。 <p>2 新型コロナウイルス感染症について知る。</p> <p>① 児童生徒もり患していること</p> <p>② 小学生においては家庭内感染が多いこと</p> <p>③ 学校内でも感染する場合があること</p>	<p>◇ 感染症の対策には、手を洗うことやマスクを付けるという感染源への対策(感染経路への対策)があることを押さえる。</p> <p>◇ 感染症の対策には、好き嫌いせず食ったり、しっかり睡眠をとったりするなどの「体の抵抗力を高める」という対策があることを押さえる。</p> <p>◇ 資料2を提示し、児童生徒のり患している状況を示すことで、自分のこととして考えることができるようにする。</p> <p>◇ 資料3を提示し、家庭内感染や学校内感染について触れ、児童に課題意識をもたせる。</p> <p>◇ 実態に応じて、資料2は提示しないなど、児童が不必要に不安な気持ちにならないよう配慮する。</p>

つかむ

	<p>3 課題を知る。</p>	
<p>さぐる</p> <p>展開</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>感染を予防するために、自分にできることを考えよう。</p> </div> <p>4 感染する原因を考える。</p> <p>【家庭内感染】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帰った後に手洗いをしていない。 ・ 家族が発熱などの症状が出て、一緒に過ごす必要がある。 ・ 家族の中で密になる場所に行っている人がいる。 ・ 家だとマスクや消毒をしない。 <p>【学校内感染】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスクを正しく付けていない。 ・ 手洗いがこまめにできていない。 ・ 換気ができていない時がある。 ・ 体調が悪くても、学校に来ている。 <p>5 感染を予防する方法を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 自分も感染を広げる可能性があることを押さえ、周りの人ができていないことばかりに終始せず、自分の課題にも目を向けることができるようにする。 ◇ 家庭内感染、学校内感染という視点で考えることで、自分一人だけでは、予防しきれない原因があることを押さえ、周りの人と予防法について考えることが大切であることを確認する。 ◇ 感染を予防する具体的な方法を考えることで、実践につながるようにする。 ◇ 激しい運動をする際や熱中症防止の観点からはマスクを外す必要性があることを確認し、マスクを外す際に気を付けることについて、確認する。 ◇ 自分の健康や周りの人の健康を守るために、予防していくことが大切であることを押さえる。
<p>みつける</p>	<p>【家庭内感染】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帰った後に手洗いをする。 ・ できるだけ自分が密になる場所にいかない。 ・ 家でも定期的に換気を行う。 ・ 家族と話し合っ規則を決める。 <p>【学校内感染】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスクを正しく付けているか確認する。 ・ 検温を欠かさず行い、体調が悪い時は休む。 	
<p>まとめ</p> <p>きめる</p>	<p>6 学習して分かったことや、これからの生活における感染症の予防法について、個人の目標を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の行動が周りの人の健康にもつながることが分かった。家族にうつさないためにも、これからは、密になるような場所にはできるだけ行かないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習カード(資料5)を活用し、個人の目標を立てる。 ◆ 感染症に関する課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定している。 【思考・判断・表現】(学習カード・行動観察)

8. 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
自分の立てた目標や取組について振り返る。	・ 学習カード（資料2）を活用し、事後に振り返る機会を設定し、実践化に向けて継続した取組になるよう助言する。	◎ 今後の生活における感染症の対策についての見通しをもち、課題を改善しようとしている。【主体的態度】〈学習カード〉

新型コロナウイルスに関する アンケート

() 年 () 組 名前 ()

(1) あなたが知っている新型コロナウイルスへの対策を書きましょう。

(2) あなたが感染症対策のためにしていることは何ですか。

資料5 学習カード (例)

新型コロナウイルス感染症の予防

()年()組 名前()

1 今までの自分を振り返って

- ・ 感染症の対策で自分ができていないこと(課題)とその原因を考えましょう。

自分ができていないこと	原因

2 これからの自分の取組について書きましょう。

自分が決めた目標
(目標の修正)

3 7日間チャレンジ (よくできた◎・できた○・できなかった△を記入しましょう。)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日

4 ふりかえり

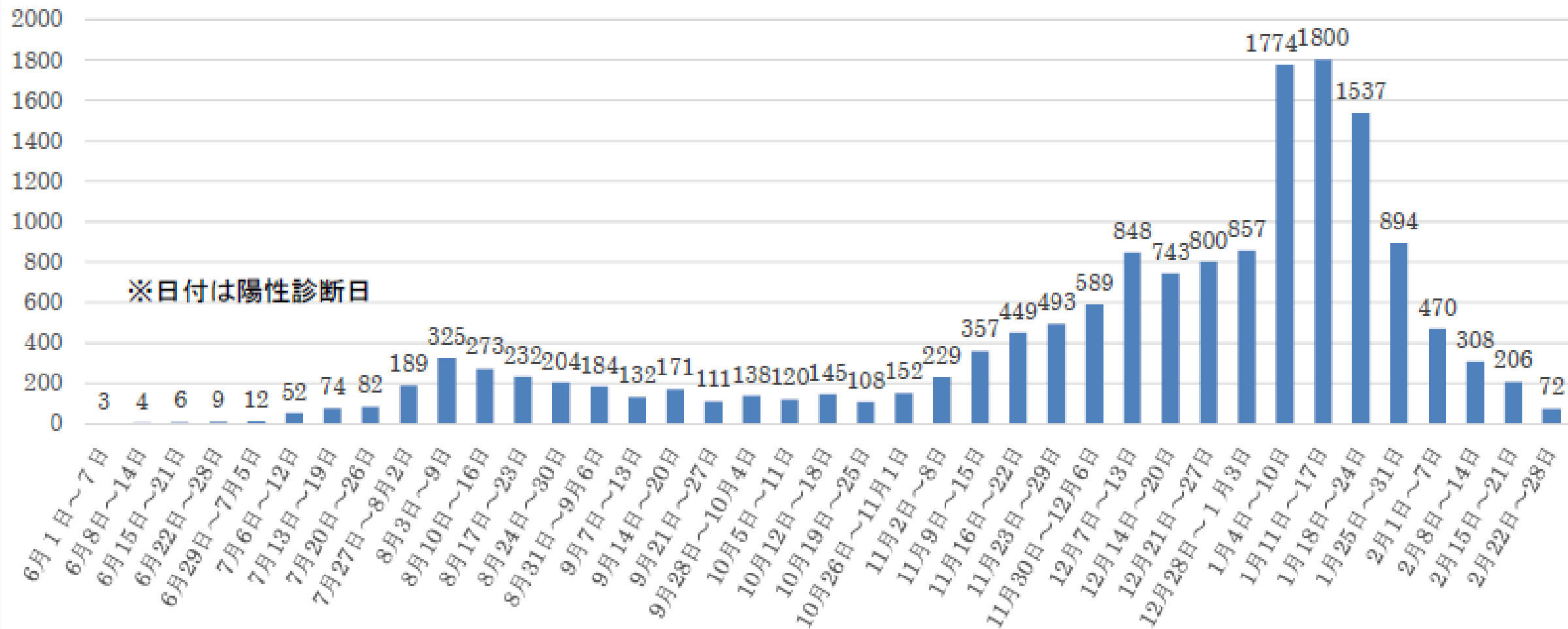
- ・ 活動をして思ったこと、感じたことを書きましょう。

新型コロナウイルスの特徴



資料2 児童生徒の感染者の推移

児童生徒等感染者の推移（6/1～2/28に文部科学省に報告があった件数）



感染状況

(令和2年6月1日から令和3年2月28日まで)

- ① **家庭内感染**
感染経路は小学校の児童の79%が「家庭内感染」である。
- ② **学校内感染**
小・中・高等学校において複数の感染者が確認された事例は、**1,247**件あり、そのうち、5人以上確認された事例は**278**件あった。

感染期間

発症する2～3日前から発症後7～10日程度に
他の人への感染の可能性がある

症状はないが、
他の人を感染させる可能性がある

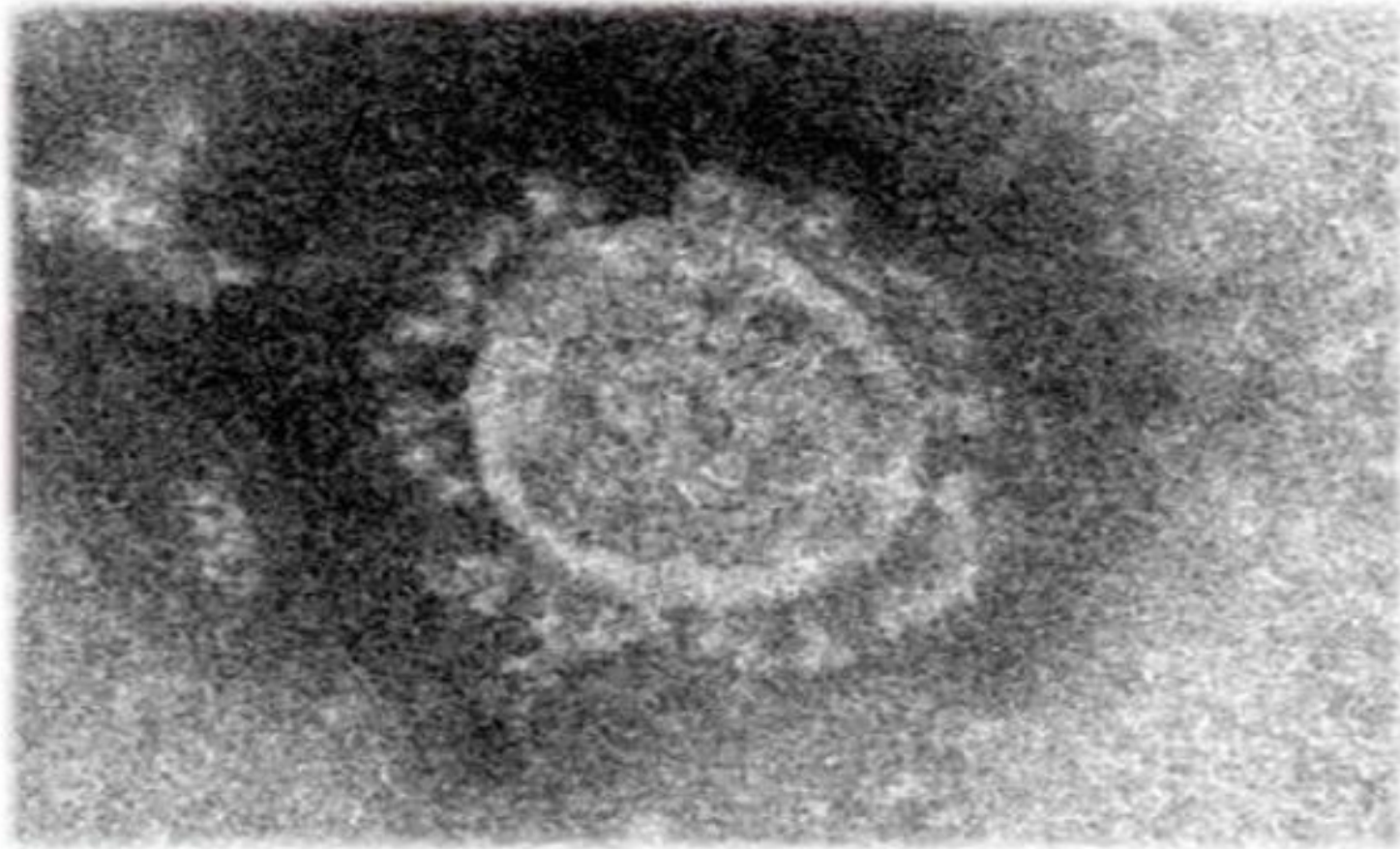
初発症状

2～3日前

発症から8日くらい経過すると
感染力が大幅に低下する

7～10日間

単元名「感染症の予防」 (新型コロナウイルス感染症)



文部科学省 国立感染症研究所が撮影した新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真

	かぜ	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
原因ウイルス	ライノウイルス、 コロナウイルスなど	インフルエンザウイルス	新型コロナウイルス(SARS-CoV2)
潜伏期間 (感染してから症状出現までの期間)	2~4日間	2~5日間	1~14日間
感染経路	飛沫・接触	飛沫・接触	飛沫・接触・エアロゾル
主な症状	発熱 咳・咽頭痛・鼻水	高熱 関節痛・筋肉痛・ 咳・咽頭痛・鼻水	発熱 筋肉痛・倦怠感 咳・痰・味覚嗅覚障害
検査方法	なし	抗原検査	PCR検査
治療法	対症療法	抗インフルエンザ薬 (タミフル®、イナビル®など)	対症療法 (重症例にはステロイド、レムデシビルなど)

感染症を予防する方法ってあるの？

資料3



対策のポイント

感染源を
絶つ

殺菌消毒



感染経路を
絶つ

清潔・清掃・衛生管理・検疫等



抵抗力を
高める



かけがえのない自分、かけがえのない健康(文部科学省平成30年度版)【中学生用】P35を一部改編

出典：文部科学省 HP

感染症を予防する方法ってあるの？



感染症を成立させる条件としては感染源(病原体)、感染経路、人(主体)の三つをあげることができます。このうちどれかをSTOPすることにより、感染症を予防することができます。

対策のポイント

感染源を絶つ

殺菌消毒



殺菌消毒の方法は病原体により様々です。

感染経路を絶つ

清潔・清掃・衛生管理・検疫等



皮膚・衣服の清潔、住居の清掃、水道の整備、衛生的な食料の流通・保管、冷蔵

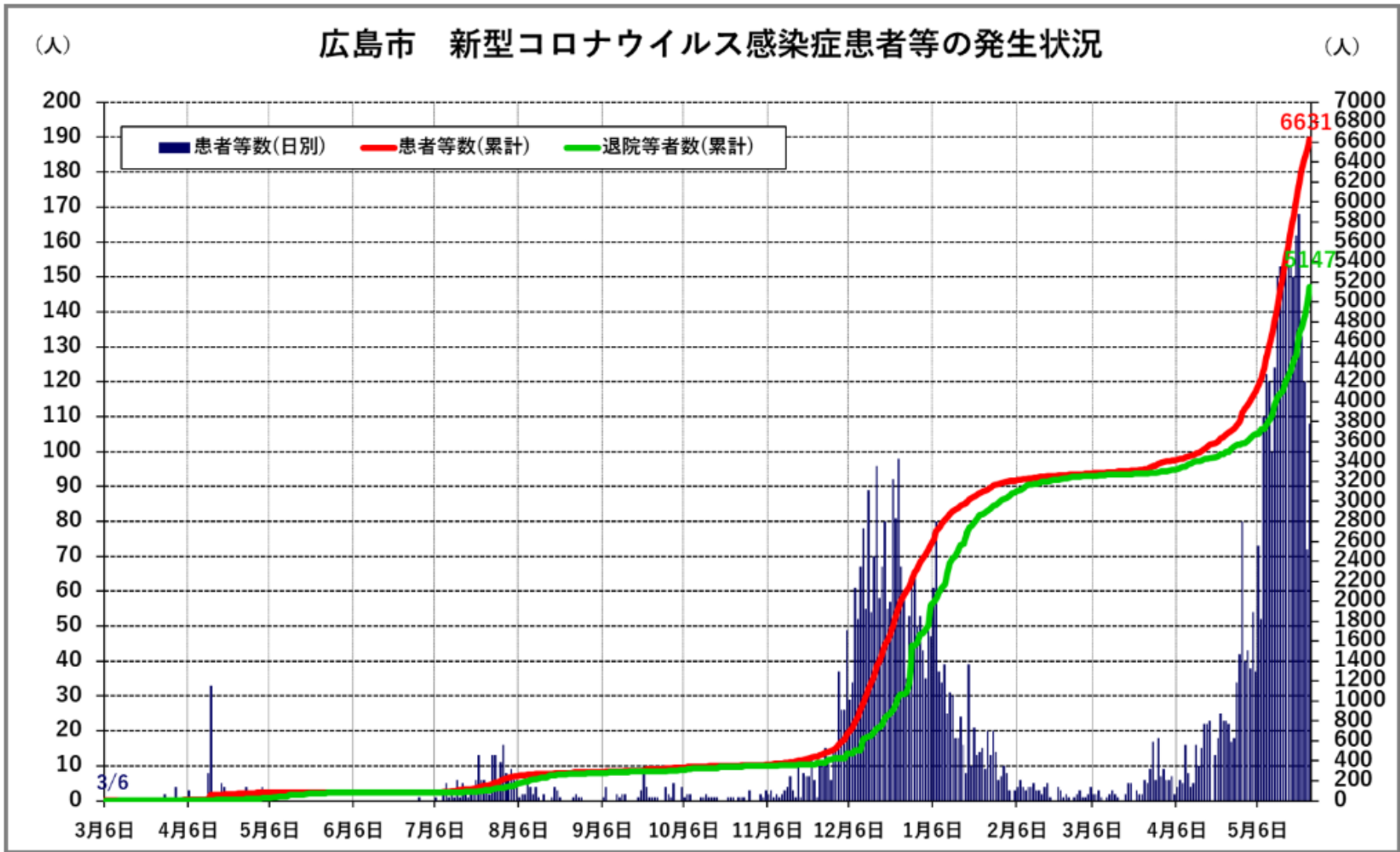
抵抗力を高める



バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠、予防接種

※抵抗力とは……病原体などに打ち勝つための体力や免疫力のことです。免疫とは自分を病原体から守る仕組みです。例えば血液中の白血球の一種が侵入した病原体を攻撃するなどの働きをします。

かけがえのない自分、かけがえのない健康(文部科学省平成30年度版)【中学生用】P35を一部改題



出典：広島市公式 HP

幼児及び 小学校 低学年の児童向け教材（例）

Aくんは、あさ、どうこうするまえに、いつものようにねつをはかりました。ねつはありません。いつものように、がっこうにげんきにどうこうし、クラスでBくんとはなしているとき、なんだか、はながむずむず、のどがかゆくなってきて、「ゴホン」とせきをしました。そのとき、Bくんはおどろいたかおをして、Aくんからはなれ、「うわ！コロナ！」といいました。Aくんはそのひ、かなしいきもちですごしました。

（発問例）

- Aくんは、なぜ、かなしいきもちになったのでしょうか。
- みんなが、かなしいきもちにならないために、どんなことがたいせつですか。
- あなたがBくんだったら、どんな声をかけてあげますか。

小学校 中・高学年の児童向け教材（例）

Aさんは、数日前から体調が悪く、学校を休んでいます。
「一応、検査を受けておこうか。」
PCR検査を受け、結果が出るまでは、学校を休んでいました。

数日後、結果は陰性で、新型コロナウイルス感染症ではありませんでした。
すっかり体調もよくなり、久々に登校する日の朝、お母さんが
「大丈夫よ。安心して行っておいで。」
と声をかけてくれました。不安だった気持ちが少しやわらぎました。

登校したとき、クラスみんなが
「おはよう！」
と声をかけてくれて、安心しました。
大休憩、仲の良いBさんが近くに来て、
「ねえねえ、Aさんってコロナだったんでしょ。大変だったね。」
と話しかけられました。
「ちがうよ…。」
Aさんは元気がなくなりました。

（発問例）

- Aさんは登校前、なぜ不安だったのでしょうか。
- Aさんはなぜ元気がなくなったのでしょうか。
- BさんはAさんにどんな言葉かけをすればよかったですでしょうか。
- もし、休んでいた友達が登校してきたら、どのように行動しますか。クラスで話し合いませんか。
- もし、自分がAさんの立場だったら、どのようにしてもらったら安心しますか。

私は、数日前から体調が悪く、学校を休み、一昨日 PCR 検査を受けた。「もし陽性だったらどうしよう。」検査の結果が出るまで、不安でたまらなく、なかなか眠れなかった。

「陽性でした。」

その結果に、不安でおしつぶされそうになりました。

「大丈夫よ。家族みんながついているから安心して。」

そんな家族の言葉とともに、家庭内感染を防ぐために自分の部屋に隔離された、私の療養生活が始まりました。

家族に支えられながら、療養している間、頭の中にさまざまな思いがめぐっていました。

症状がなくなっても、外出せず、療養生活が終わる日、

「よくがんばったね。これで安心だよ。」

家族の言葉に涙が出そうでした。

久しぶりに登校する日、不安で胸がおしつぶされそうになりながら、学校に向かいました。

学校に着くと、下駄箱で仲の良い B さんから声をかけられました。

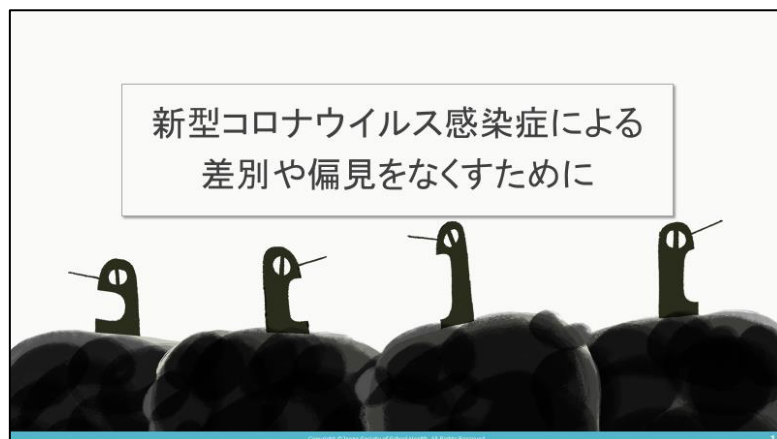
「A さん、大変だったね。大丈夫、大丈夫だからね！！」

その一言に私は救われた気がしました。

A さんはすっかり元気になりました。

- A さんの頭の中をめぐっていたさまざまな思いとはどんなものだったでしょう。
- A さんはなぜすっかり元気になれたのでしょうか。

公益財団法人 日本学校保健会のホームページから「新型コロナウイルス～差別・偏見をなくそうプロジェクト～」のページにアクセスし、「学校関係者情報登録フォーム」より申し込めば、教材及び資料のダウンロードができます。ご活用ください。



【小 学 校】

広島市小学校教育研究会体育部会

三上 正浩 (段原小学校 校長)

古村 浩祐 (石内北小学校)

広島市小学校教育研究会特別活動部会

寺戸 典子 (可部南小学校 校長)

溝上 絵梨 (川内小学校)

作成担当 前田 心平 (指導第一課)
藤本 マリコ(指導第一課)

【中 学 校】

広島市中学校教育研究会保健体育部会

花口 公嗣 (白木中学校 校長)

松永 康太 (白木中学校)

広島市中学校教育研究会特別活動部会

渡邊 陽一 (落合中学校 校長)

富島 瑠里 (落合中学校)

作成担当 向井 匡人 (指導第二課)

【高 等 学 校】

野依 英二 (沼田高等学校 校長)

三浦 秀行 (沼田高等学校 教頭)

伊藤 宏晃 (沼田高等学校) 平本 裕康 (沼田高等学校) 村武久美子 (沼田高等学校)

作成担当 佐々木佳祐 (指導第二課)

敬称略